

1999年「国際高齢者年」と高連協の活動

国連の動き

国連は、世界平和がつづくことを願いとし、21世紀には国際的な「高齢化社会」が潮流となることを予測して、20世紀末の1990年代にいくつもの重要な提言をおこない、1999年を「国際高齢者年」と定めて各国に対応を要請した。

1982年の国連主催による「高齢化に関する世界会議」（ウィーン）で、「高齢化に関する国際行動計画」（International Plan of Action on Aging）を採択。この「行動計画」を同年の第37回国連総会で決議。

1990年12月14日の「第45回国連総会」で10月1日を「国際高齢者デー」（International Day for the Elderly）とする決議。

1991年12月16日の第46回国連総会で「高齢者のための国連原則」（UNITED NATIONS PRINCIPLES FOR OLDER PERSONS）として「自立・参加・ケア・自己実現・尊厳」（Independence Participation Care Self-fulfilment Dignity）を採択。

1992年11月16日の第47回国連総会で世紀末の1999年を「国際高齢者年」（International Year of Older Persons）と決定。

1995年12月21日の第50回国連総会で概念的枠組みとして、テーマを「すべての世代のための社会をめざして」（towards a society for all ages）とした。

1997年の第52回総会で、「国際高齢者年 すべての世代のための社会をめざして」の実施を、1998年10月1日「国際高齢者デー」から開始するよう要請。

.....

わが国の動き

[わが国でも急速に「高齢化」がすすみ、1970年には高齢化率が7%を超えて「高齢化社会」に、1994年には14%を超えて「高齢社会」にはいった。その間わずか24年である。そして1995年には「高齢社会対策基本法」（平成7年11月15日公布、12月16日施行、村山内閣）を制定し、1996年には「高齢社会対策大綱」（平成8年7月5日、橋本内閣）を閣議決定している。

そして国連の提唱に共鳴する関連団体が、「国際高齢者年」のはじまる1998年8月21日（金）に「高齢者年NGO連絡協議会準備会」（有志10団体）を立ち上げ、「国際高齢者年」が始まる「国際高齢者デー」の10月1日に「高齢者年NGO連絡協議会（高連協）」（代表は相原三郎・堀田力両氏。22団体が参加）を設立した。1999年の「国際高齢者年」事業の民間側の中心として活動し、2000年4月19日に「国際高齢者年」の役割を終えたことでひとまず解散、閉会総会のあと直ちに「新高連協」の設立発起総会を開催し、名称、会則、活動方針などを討議。2000年6月16日に「高齢社会NGO連携協議会（高連協）」（代表は堀田力・久野木行美両氏、鷹野

義量事務局長)が発足した。]

1999年「国際高齢者年」の主な行事と高連協の活動

行事：

1998年3月9日(月)「国際高齢者年に関する関係省庁連絡会議」を設置。第1回会合。

1998年7月14日(火)「国際高齢者年に関する関係省庁連絡会議」の第2回会合。

1998年10月1日(木)「高齢者年NGO連絡協議会(高連協)」(代表は相原三郎・堀田力両氏)が発足。22団体が参加。

1998年10月5日(月)「国際高齢者年に関する高齢者関連団体連絡会議」第1回会議。

56団体76人参加。議事次第 ①国際高齢者年について ②政府の国際高齢者年への取組について ③高齢者関連団体における国際高齢者年への取組状況

1998年12月2日(水)「国際高齢者年記念シンポジウム「高齢者の人権とコミュニティー」 場所 イイノホール 主催 総務庁(財)住友海上福祉財団(社)エイジング総合研究センター(オープニング・イベント)

1998年12月21日(月)「国際高齢者年に関する関係省庁連絡会議」の第3回会合。

1999年1月14日(木)「国際高齢者年記念『高齢社会に関する懇談会』 少子高齢化社会の高齢者と若者～すべての世代のための社会とは」大阪府教育会館 主催 総務庁

1999年1月17日(日)「第11回 世界青年の船『世代間交流プログラム』」主催 総務庁青少年対策本部

1999年3月8日(月)「国際高齢者年マスコットキャラクター審査委員会」総務庁

1999年3月25日(木)「国際高齢者年に関する関係省庁連絡会議」の第4回会合。

1999年3月26日(金)「国際高齢者年に関する高齢者関連団体連絡会議」第2回会議。

39団体72人参加。議事次第 ①政府における国際高齢者年の取組について ②国連における国際高齢者年の取組について

1999年6月15日(火)「都道府県・指定都市高齢社会対策主管課(室)」長会議

1999年6月22日(火)「国際高齢者年記念高齢社会研究セミナー 超高齢社会の高齢者像を考える」場所 日本都市センター会館 主催 総務庁 高齢者年NGO連絡協議会

1999年9月2日(木)「第12回 世界青年の船『世代間交流プログラム』」主催 総務庁青少年対策本部

1999年9月15日(水)「国際高齢者年記念『高齢社会に関する懇談会』 明るい高齢社会へのチャレンジ～理想の高齢社会をすべての世代で考える」場所 早稲田大学大隈小講堂 主催 総務庁 共催 エイジングメッセ'99 in 早稲田実行委員会 早稲田大学人間総

合研究センター 高齢者年NGO連絡協議会 高連協「高齢者憲章」を発表。

1999年9月20日（月）「国際高齢者年記念事業シンポジウム『高齢者の生涯学習と社会参加』～すべての世代のために」 場所 国立オリンピック記念青少年総合センター国際会議室 主催（財）さわやか福祉財団

1999年9月20日（月）・9月21日（火）「『活力ある高齢化』実現のための国際シンポジウム」 場所 京王プラザホテル5階エミネンスホール 主催 労働省（財）高齢者雇用開発協会 共催 日本経済新聞社 後援 高齢者年NGO連絡協議会

1999年10月1日（金）「国際高齢者年記念行事『心豊かな長寿社会を考える国民の集い』」全国大会・記念式典「国際高齢者年フェアin TOKYO」 場所 東京厚生年金会館大ホール 主催 総務庁 東京都 国際高齢者年記念事業実行委員会

1999年10月1日（金）「国際高齢者年郵便切手」（1800万枚）を発行 郵政省

1999年10月2日（土）・3日（日）「国際高齢者年記念行事『心豊かな長寿社会を考える国民の集い』」全国大会・記念式典「国際高齢者年フェアin TOKYO」 場所 東京都庁 主催 総務庁 東京都 国際高齢者年記念事業実行委員会

1999年10月2日（土）「国際高齢者年記念フォーラム 高齢者社会参加モニター懇談会」 場所 議会棟都民ホール

1999年10月2日（土）「シンポジウム高齢者の生活像を考える懇談会」 場所 第一本庁舎5階大会議室

1999年10月9日（土）「みんなの体操」発表式典 場所 NHKホール 主催 郵政省簡易保険局 日本放送協会

1999年10月12日（火）「ねんりんピック'99福井国際シンポジウム」「ねんりんのパワーを生かす新時代[情報化・国際化を生きる]」 場所 フェニックスプラザ大ホール（福井市） 主催 厚生省 福井県（財）長寿社会開発センター

1999年12月14日（火）「**国際高齢者年記念シンポジウム『高齢社会をいかに切り拓くか』**」 場所 有楽町朝日ホール 主催 総務庁（社）エイジング総合研究センター（財）住友海上福祉財団 後援 朝日新聞社（クロージング・イベント）

2000年1月19日（水）「国際高齢者年に関する高齢者関連団体連絡会議」第3回会議。

51団体70人参加。議事次第 ①我が国における国際高齢者年の取組について ②民間団体における国際高齢者年の取組について ③各国における高齢社会対策並びに国際高齢者年の取組について ④意見交換

2000年4月19日（水）「高齢者年NGO連絡協議会」を解散、あと直ちに「新高連協」の設立発起総会を開催。

2000年6月16日（金）「**高齢社会NGO連携協議会（高連協）**」（代表は堀田力・久野木行美両氏、鷹野義量事務局長）が発足。

資料：

○『国際高齢者年の記録』（総務庁高齢社会対策室 平成12年3月31日）

○『高齢社会白書 平成12年版』（総務庁、平成12年6月20日）

◎内閣府共生社会政策統括官 高齢社会対策 国際高齢者年

○国際高齢者年(International Year of Older Persons)について

<http://www8.cao.go.jp/kourei/program/iyop.htm>

○平成10年度における国際高齢者年関連事業（都道府県）

<http://www8.cao.go.jp/kourei/program/iyop/tdfk/990730b1.htm>

○平成11年度における国際高齢者年関連事業（都道府県）

<http://www8.cao.go.jp/kourei/program/iyop/tdfk/990730b2.htm>

○高齢者関連団体における国際高齢者年関連事業調べ（平成10年度）

<http://www8.cao.go.jp/kourei/program/iyop/dantai/kanren1.htm>

○高齢者関連団体における国際高齢者年関連事業調べ（平成11年度）

<http://www8.cao.go.jp/kourei/program/iyop/dantai/kanren2.htm>

○平成11年度の主な国際高齢者年関連事業

<http://www8.cao.go.jp/kourei/program/iyop/kanren3.htm>

○国際高齢者年中央記念式典

平成11年10月1日（金）～3日（日）（東京厚生年金会館、都庁）

<http://www8.cao.go.jp/kourei/kou-kei/tsudoi/tsudoi11.html>

○記念シンポジウム「高齢社会をいかに切り拓くか～国際的な視野から考える～」

平成11年12月14日（火） 13:00～17:10 有楽町朝日ホール

<http://www8.cao.go.jp/kourei/program/iyop/sinpo.htm>

.....

○活動報告 エイジング総合研究センター

<http://www.jarc.net/janca/cont/main04a.html>

○付録版「さわやか活動報告ニュース&にゅーす」98年10月号

<http://nippon.zaidan.info/seikabutsu/1998/00538/contents/008.htm>

○ダイヤニュース バックナンバー No. 11～20

http://dia.or.jp/disperse/dianews/11_20.php

.....